



啐啄同機

若松原中学校学校だより
第13号
令和8年1月30日
発行者 永井高穂



令和7年度スローガン 「挑み 鍛え 前へ」

上記QRコードより、「若松原中学校」ホームページもご覧ください。



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。令和8年(2026年)が幕を開けました。短い冬休みを終えて、校舎に生徒たちの元気な声が戻ってきました。2学期後半のスタートです。残り3か月のこの時期は、一年間のまとめの時期でもあります。次年度への準備の期間でもあります。一人一人が今年度を振り返り、それぞれの目標を再確認し、一日一日を大切に過ごせるよう支援してまいります。

うまどし 午年

午年は、「行動力や成功、躍動」を象徴し、10年に一度巡る「丙午(ひのえうま)」は、情熱と変化の年と言われます。また、「午(うま)」は縁起が良いとされ、農作業や移動を助けてくれるだけでなく、神社では「神様の使い」として神馬として奉納されることもあります。そのため、馬は「出世や発展の象徴」とされ、午年は努力や挑戦が実を結びやすい年ともいわれています。今年も「挑み 鍛え 前へ」とチャレンジを続けましょう。「継続は力なり」です。

小6生中学校訪問 1/16(金)



小学校6年生による中学校訪問が行われました。宇都宮市の取組で、次年度の本校入学予定者が、進学先の中学校に学校訪問するものです。小6児童は、1,2年生の授業の様子を見学したり、生徒会の生徒による「中学校生活の説明」を聞いたり、部活動の様子を見学したりしました。

2年生 宮チャレ発表会

2年生が総合的な学習の時間を使って、11月に実施した宮っ子チャレンジ、職場体験の発表会を行いました。それぞれの体験場所ごとに、仕事の内容や学んだことなどグループ発表しました。



職業人に学ぶ(1年生) 1/27(火)

1年生が、キャリア教育の一環として、学年行事の「職業人に学ぶ」を実施しました。経済同友会の協力をいただき、宇都宮市を拠点に活動されている「税理士法人アミック&パートナーズ」さつき事務所の所長を務めていらっしゃる谷中田悟様を講師に迎え、「念ずれば花開く」と題した講話を拝聴しました。



夢は正夢

誰でも努力することは知っているし、多くがそれなりに努力する。
だが、努力しなくてもいい環境になると努力しなくなる。
それが、凡才である。天才は努力をしなければならない環境を自ら
創り出して努力することをやめない

- 「能力」の差は、**小さい**
- 「努力」の差は、**大きい**
- 「継続」の差は、**とても大きい**
- 「習慣」の差は、**1番大きい**

立志式 1/29(木)

2年生が立志式を行いました。まっすぐな竹が必要なところに節ができることで、高く、しなやかな竹に成長することができ、どんなに強い風が吹いても折れたり倒れたりしないのと同じように、14歳は、人生において節目の年です。生徒たちは、これを機に夢をもち、目標をもって、その実現に向けて感謝の気持ちを忘れずに努力してほしいと話しました。



立志記念行事

式後には、記念行事として社会体験学習発表、立志の思い、宮チャレのムービーを立志式実行委員が企画し、進行しました。社会体験学習発表では、ヒルズスイーツ、ホンダ栃木東西川田店、RADIO BERRY FM 栃木の3事業所の発表を行い、その他の事業所の発表内容は掲示しました。「立志の思い」では、生徒一人一人が「〇〇になりたい」という思いを全員の前で発表しました。また、宮チャレの様子をムービーで鑑賞しました



教室に戻った生徒の机の上には、保護者からの手紙が置かれており、生徒の中には、手紙を読み、感動し、涙する生徒もいました。一年後には、自分の進路を決定していきます。いろんな人に応援されていることに、感謝の心をもって、「挑み、鍛え、前へ」と力強く歩んでほしいです。